

【緑地の樹】

カキノキ（柿の木）

緑地の花広場に、二本の柿の木があります。15年ほど前に芽を出したものが育ったのです。”桃栗三年柿八年”と言われますが、8年経っても実がならず、何回か「邪魔なので切っ飛ばせ」という声の中で、守ってきたのです。

二本のうち一本が、昨年4~5個の実をつけました。10年以上待っていた実だったので、どんな味か食べてみたかったのですが、もう何年も作業にも参加せず、5個ばかりの実をいただくのは憚られ、諦めました。今年はどここの柿も生り年のようで、緑地の柿の木も、我が家の窓から見るところ50個くらい実をつけ、赤くなり始めていたので、味見をしたいと話したところ、「あれは渋柿で誰も採りません、ご自由にどうぞ」ということでした。

渋柿と聞き、長年の期待が裏切られ、心底がっかりしましたが、思い直し干し柿にチャレンジすることにしました。

カキノキ科 カキノキ属の落葉樹

一人ではとても収穫も干し柿作りもできそうにないので、10月2回目の作業日に高枝切りバサミを持って、Oさんと収穫しました。50個くらいはあると採り始めましたが、先客が味見した跡があり、柿に穴が開いています。鳥のつついた穴です。鳥も、渋いのがわかると即やめてしまうらしく、どの柿も一カ所だけ穴が開けられていました。結局無傷で人間さま用には25個ほどでした。Oさんと分けて持ち帰り、干し柿に挑戦しました。

良いお天気にも恵まれ、2週間ほどでおいしい干し柿ができました。活動日に持参し、好評を得ましたので、来年も干し柿作りのお役を引き受けようかと思っています。（齋藤泰子）



木守り柿